

令和 8 年 8 月定例会 提案説明要旨

(はじめに)

令和 8 年 8 月関西広域連合議会定例会の開会に当たり、一言ご挨拶申し上げます。議員の皆様、まずは平素のご活動、様々なお取組に敬意を表しますとともに、ご指導・ご厚情に感謝を申し上げます。

また、本日は奈良県議会の議場をお借りしての開催となります。奈良県議会議長の乾議長をはじめ、奈良県議会の皆様、心からお礼申し上げます。

はじめに、国内では、この 1 か月の間に災害が相次ぎました。特に、7 月 28 日夕刻に発災した令和 8 年熊本地震、そして 8 月 13 日からの令和 8 年 8 月千葉豪雨では、大きな被害が生じました。お亡くなりになられた方々に謹んで哀悼の意を表します。また、被災されて、今なお不自由な暮らしを余儀なくされている方々に心からお見舞いを申し上げ、1 日も早い復旧復興をお祈りいたします。

熊本地震につきましては、関西広域連合では、7 月 31 日に災害対策支援本部を設置し、熊本県の八代市、宇土市、宇城市の 3 市へのカウンターパート方式による支援の実施を決定し、国等との連携のもと、総力を挙げて被災地支援に当たってまいりました。

その後、家屋の被害状況等を踏まえ、カウンターパート先を柔軟に調整するなど、被災地のニーズに沿った支援を行っています。

今後引き続き、復旧復興のフェーズに応じ、関西広域連合が一丸となって支援してまいります。

さて、7 月 26 日、韓国の釜山で開かれた国連教育科学文化機関（ユネスコ）の世界遺産委員会で、奈良県の「飛鳥・藤原の宮都」の世界文化遺産登録が決まりました。日本で 27 件目、関西で 7 件目の世界遺産となったことについて、心よりお喜び申し上げるとともに、地元奈良県をはじめとする多くの関係者の皆様の長年にわたるご尽力に深く敬意を表します。

奈良盆地に位置する 19 の構成資産から成る「飛鳥・藤原の宮都」は、東アジアの古代国家形成期において、我が国で中央集権体制が成立する過程を示す貴重な文化遺産であり、関西の歴史文化資源の豊かさを、また一つ、世界に示すことができました。このポテンシャルを生かし、広域観光の促進等につながるよう、様々な取組を進めてまいります。

それでは、提案理由の説明に先立ち、7 月臨時会以降の主な取組についてご報告します。

(広域防災)

第 1 は、広域防災の推進です。

7 月 13 日の参議院本会議にて、防災庁設置法案が可決・成立し、年内を

目途に、防災庁が設置されます。これにより南海トラフ地震や首都直下地震等甚大な被害が想定される大規模災害への備えや、我が国の防災体制の抜本的な強化が図られることを期待します。

防災庁の地方機関についても２年以内に設置するとされていることから、関西広域連合としても、関西への誘致に向け、引き続き国へ働きかけていくとともに、一層の機運醸成を図ってまいります。

また、10月17日・18日に鳥取県において、国民の防災意識向上のため、産学官民が防災活動を発表し、交流する「ぼうさいこくたい2026 in鳥取」が開催されます。

関西広域連合では、「災害時における広域応援の取組」をテーマとしたセッションを実施するとともに、構成府県市の防災施策や取組を紹介するブース展示を行う予定としております。

こうした機会を通じて、関西における防災・減災に向けた取組を広く発信し、防災意識の向上につなげてまいります。

（広域観光・文化の振興）

第２は、広域観光・文化の振興です。

関西各地で競技が行われる「ワールドマスタースゲームズ2027関西」は、開催を契機に広域周遊観光を推進する絶好の機会となります。構成府県市と連携し、開催地及びその周辺の数多くの観光コンテンツの収集を進めてきたところであり、これらを元に魅力的なモデルルートの造成に向け、取り組んでまいります。

また、大会期間中のイベント・文化施設などの優待、割引特典や観光スポット情報等を取りまとめたデジタル周遊マップにより情報発信を行うこととしており、大会参加者が広域で観光地を巡りやすい環境を整え、滞在中の周遊観光を促進していきます。

さらに、ジオパークについて、万博で実施したPRの成果を活かし、インバウンド向けの旅行商品の造成・販売を実施し、広域観光の新たなルートとして定着させてまいります。

なお、後ほど説明いたしますが、こうした取組をさらに充実させるため、国の補助制度に事業採択されたことから、関連予算の増額補正をお願いしております。

（広域スポーツの振興）

第３は、広域スポーツの振興です。

「ワールドマスタースゲームズ2027関西」の成功に向け、さらなる機運醸成と競技への参加促進に向けた取組を進めております。

多くの参加者が見込まれるスポーツイベントにおいてPR活動を行う

ことでスポーツファンへの周知を図るとともに、本番と同じ競技に参加できる「関西マスターズゲームズ」を関西各地で開催するなど、大会への関心の向上に努めております。

また、組織委員会を中心に、スポーツ選手による大会応援動画の配信や、全国知事会議でのPRブースの設置などのプロモーション活動を展開し、さらなる認知度向上に努めているところです。

引き続き、組織委員会や構成府県市とともに、PRを強化してまいります。

（広域医療の確保）

第4は、広域医療の確保です。

今年度、「大阪府ドクターヘリ」「徳島県ドクターヘリ」において、通年運航可能な運航委託先の確保に至らず、また、「3府県ドクターヘリ」「兵庫県ドクターヘリ」においても運航委託先の整備士不足により、運航停止期間が生じるなど、厳しい状況に直面してきました。

このような状況の中、全国の航空運送事業者と交渉を続けてきた結果、「大阪府ドクターヘリ」については、8月24日から約1年間は月10日程度の運航が可能となりました。また、「徳島県ドクターヘリ」については、複数の事業者のご協力により、6月から断続的に約6か月間の運航を確保しております。さらに、「3府県ドクターヘリ」「兵庫県ドクターヘリ」においても、厚生労働者や関係者などと調整を行い、臨時的に整備士に代わり操縦士を同乗者とする運用を開始した結果、8月の運航停止期間を大幅に抑えることができました。

加えて、厚生労働省においては、ドクターヘリの運航体制等を議論する「救急医療搬送体制等のあり方に関する検討会」が開催されるなど、国の対応も本格化してきたところです。

引き続き、ドクターヘリの安定的な運航体制の確保に全力で取り組んでまいります。

（広域環境保全の推進）

第5は、広域環境保全の推進です。

8月22日に、滋賀県が保有する学習船「うみのこ」を活用し、琵琶湖での親子体験航海を実施しました。このイベントは、琵琶湖の現状や生き物への理解を深め、日常生活における環境配慮意識の向上を図ることを目的としており、11月23日にも今年度2回目の実施を予定しております。

また、10月11日と11月8日には京都府の京丹後地域で「自然体験教室」を実施する予定です。アベサンショウウオ保護活動地域や山陰海岸ジオパークなどを巡り、貴重な動植物や特徴的な地形などについて、五感を通し

て、楽しく学んでいただこうと考えております。

引き続き、豊かな自然環境を活かした交流型環境学習の取組を通じ、環境先進地域「関西」を担う人材の育成に努めてまいります。

（関係団体との連携推進）

第6は、関係団体との連携推進です。

8月7日、「関西経済連合会との意見交換会」及び「市町村との意見交換会」を開催いたしました。

これらの意見交換会において、関西広域連合の機能強化をはじめとする広域行政の深化や大阪・関西万博のレガシー継承に資する取組の推進、さらには人口減少社会における行政サービスの維持など、多岐にわたる建設的なご意見・ご提案をいただきました。

昨年度に設置し、既に3回開催している「新たな広域自治・行政のあり方研究会」での議論も踏まえ、経済界や市町村からのご意見・ご提案を、今後の施策推進に活かしてまいりたいと考えております。

（広域インフラの整備促進）

第7は、広域インフラの整備促進です。

北陸新幹線は、関西に大きな経済効果をもたらすとともに、大規模災害発生時におけるリダンダンシー確保に寄与するなど、国土の強靱化にも必要不可欠なインフラです。

敦賀・新大阪間のルートについては、先月、与党プロジェクトチーム北陸新幹線敦賀・新大阪間整備委員会において、「今後着工5条件の充足を図るルート案」として、小浜・京都ルートの桂川案でとりまとめられ、与党プロジェクトチームが正式な与党合意として了承したところであり、全線開業に向けた大きな一歩であると考えています。

関西広域連合においては、8月5日に、北陸新幹線建設促進同盟会主催の建設促進大会に参加するとともに、政府与党及び関係省庁に対し、新大阪までの全線開業について、強く要請をしてまいりました。

引き続き、全線開業に向け、関西一丸となって取り組んでまいります。

（未来創造会議）

第8は、大阪・関西万博のレガシーを後世に引き継いでいくための「未来創造会議」に関する取組です。

8月24日に第3回目の会議が開催され、関西広域連合からは、私が委員として出席いたしました。

会議では、カーボンニュートラル分野における最先端技術等の実装化・産業化に向けたプロジェクトやプロジェクトリーダーの選定等について

活発に意見が交わされ、私からは、最先端技術等の実装化・産業化については、企業や大学、高専など、幅広い主体の参画を得ることが大切であるという点と、プロジェクトの実証を行うのであれば、都市部のみならず、関西各地で行われることが重要であるという点について意見を述べさせていただきました。

今後も、「未来創造会議」を通じた取組が、万博後の関西の持続的な成長に繋がるよう、構成府県市のご協力も得ながら、積極的に関与してまいります。

（提出議案の説明）

これより、提出した議案について説明します。

第11号議案は、「令和7年度関西広域連合一般会計歳入歳出決算認定の件」です。令和7年度決算は、歳入37億7,405万3千円余、歳出34億4,201万2千円余で、歳入歳出差引残額は、3億3,204万円余です。

この決算について、先に監査委員の審査に付しましたところ、決算審査意見書の提出がありましたので、これを付して、関西広域連合議会に報告するものです。

第12号議案は、「令和8年度関西広域連合一般会計補正予算（第2号）の件」です。歳入歳出それぞれ4億5,140万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額を33億3,325万8千円といたします。この度の補正予算は、令和7年度決算剰余金の処理、過年度におけるドクターヘリ事業に係る国庫補助金の返還、観光振興事業費補助金の採択に伴う事業予算の拡充や関西パビリオン設置運営基金の清算に伴う返還等を行うものです。

（おわりに）

以上で提出議案の説明といたします。議員の皆様におかれましては、よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。